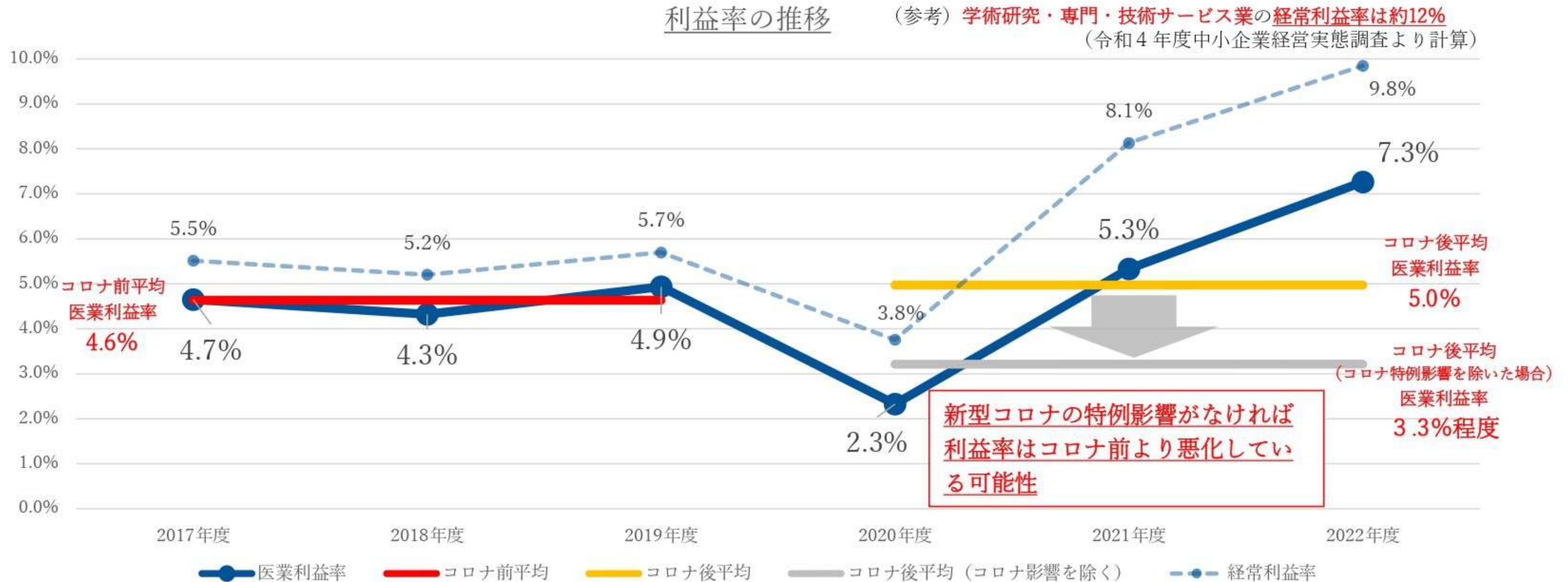


診療所の経営状況

- 診療所の経営状況（医業利益率）は、新型コロナ流行前3年間の平均は4.6%、新型コロナ流行後3年間の平均は5.0%となっている。
- 新型コロナ流行後の利益率は上昇しているが、これはコロナ対応（ワクチン接種対応、発熱外来対応等）に伴う収益増によるものであり、診療所として新型コロナにしっかりと対応し、コロナ禍における日本の医療を支えてきたことの証左。
- 新型コロナの特例的な影響はあくまで一過性のもの。これを除くと新型コロナ流行後3年間の利益率は**3.3%程度**となり、流行前よりも悪化している可能性。逆に、報酬特例の見直し等により、来年度以降はこうした収益は見込まれず、コスト増と合わせて経営環境はさらに悪化。



出典：「TKC医業経営指標(M-BAST)」(※)における約4,400~4,800施設のデータを基に日本医師会において作成。2年度ごとに客体に変化があるため本来は単純に比較はできないがコロナ流行という極めて特殊な状況であるためあえて比較している。

※ TKC会員(税理士・会計士)と契約している医療機関等は、TKC会員による月次巡回監査を受ける、経営改善意識の高い法人。